

中国シルバー・エコノミーの発展状況



中国エイジング・サイエンス研究センター

党俊武

2024. 5. 25.

要 旨

- 一、中国における人口高齢化のトレンド
- 二、中国におけるシルバー・エコノミーのポテンシャル
- 三、中国におけるシルバー・エコノミー振興の論点

一、中国における人口高齢化のトレンド

1、人口高齢化は経済の担い手の構造に大きな変化をもたらす

(1)人口構造と年齢3区分別の推移（2024年-2050年：17.x%、61%、21%-12%、48%、40%）

(2)フロー・ベース：40+=10.5億人

(3)60歳以上高齢者の平均余命（2024年-2050年：20-26.66歳）

2、経済構造に大きな変化が起きる

(1)需要：中身の変化と階層化

(2)供給：若年層向けの供給構造の見直しを余儀なくされる（代償）

結論 1、中国マクロ経済の中長期的な問題を再認識（人口動態が長期戦略のキー・ファクター）

2、高齢社会を見据えた備えがほとんど出来ていない

3、差し迫った課題を解決しながら、高齢社会ならではの重要な経済課題を巡り戦略的に手を打つ必要がある

二、中国におけるシルバー・エコノミーのポテンシャル

- 1、将来の見通し：現在GDPの12%以上を占めるシルバー・エコノミーの規模は2030年に同2割、2050年に同3割へと割合を高めていくと想定（百兆元超え）。
- 2、シルバー・エコノミーの産業構成：高齢者向けのカルチャー産業、健康産業、住宅産業、製造業、サービス業、金融業等。
- 3、現状：高齢者向け健康産業、高齢者向けサービス業が先行しているものの、ほかの産業は遅れを取っている。
- 4、課題とその原因：課題は需要不足。原因として低い所得水準、制度や体制面の制約、産業調整の難航などが挙げられる。

結論

- 1、高齢社会を前提としたマクロ経済のあり方（新たな課題、新たなセオリー）
- 2、高齢社会における需要構造の変化、趨勢及びその背後にあるロジックへの理解
- 3、産業構造の調整への道筋（調整、モデル転換、高度化）

三、中国におけるシルバー・エコノミー振興の論点

- 1、人間中心の経済：経済発展により福祉を増進（モノの進化とヒトの進歩）
- 2、制度・体制問題を解決
- 3、産業政策を制定
- 4、交流や連携を強化
- 5、ビジョン：一人ひとりの国民が健康で、自分の生きがいを実感しながら、長生きしていくこと。

中信出版集团

老龄经济

党俊武 著

老龄经济

长寿时代的新经济
与产业发展模式

党俊武 著

文化、健康、宜居、服务、制造、金融
树立老龄经济思维，把握未来机会窗口

中信出版集团

ご清聴有難うございました！